

東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国月間情勢報告

（アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

（2023年11月）

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

11月の東カリブ諸国機構（O E C S）6 か国（注）の内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

（注：アンティグア・バーブーダ（アンティグア）、ドミニカ（国）、グレナダ、セントルシア、セントクリストファー・ネイビス（セントキッツ）、セントビンセント及びグレナディーン諸島（セントビンセント））

1 概況

- （ドミニカ）国際自然保護連合（IUCN）絶滅危惧種レッドリストに分類されているマッコウクジラを保護すべく、世界初のマッコウクジラ保護区の創設を決定。
- （ドミニカ）ドミニカのロゾー市と中国の義烏市、及びセントジョセフ市と山東省の任城区がそれぞれ姉妹都市関係樹立の覚書を締結。
- （セントルシア）セントルシア政府は台湾政府より、インフラ・港湾・交通省への設備追加や、観光・投資・創造産業・文化・情報省傘下の国立文化センターの改修等を含む計8つの二国間協力プロジェクト支援のため390万東カリブドル（約143万米ドル）以上の無償資金援助を受けた。
- （セントルシア）ピエール首相は、6月に発生したトロピカル・ストーム・ブレットにより被害を受けた学校再建のため、アフリカ輸出入銀行から600万米ドルの融資を受ける旨発表。
- （セントビンセント）第一回サウジアラビア・カリコム首脳会合に出席するためサウジアラビアを訪問したゴンザルベス首相は、スルタン・ビン・アブドゥルラーマン・アル・マルシャド・サウジアラビア開発基金（SFD）最高経営責任者（CEO）と会談し、住宅、教育、保健、スポーツ施設、及び安全保障の分野におけるインフラ整備プロジェクトに関する覚書に署名。
- （セントビンセント）SFDは、セントビンセントに対する5,000万米ドルの融資を承認。ゴンザルベス首相は、同融資は住宅の修繕・再建や学校、医療機関、文化・スポーツ施設の建設などに充てられる予定である旨発表。
- （セントキッツ）ドリュエ首相はスルタン・ビン・アブドゥルラーマン・アル・

マルシャドSFDのCEOと会談。SFDは、ニーズマスト発電所拡張プロジェクトの開発資金として、1億5,000万サウジアラビアリヤル（SAR）（約4,000万米ドル）を拠出することに合意。更にセントキッツはカリブ諸国として初めてサウジアラビアへの査証免除が適用された。

2 内政

- （11日アンティグア報道）2024年5月27～30日に開催予定の小島嶼開発途上国（SIDS）国際会合に際する宿泊施設に関し、ハースト首相首席補佐官は、5,000名以上の来訪予定関係者の宿泊施設として準備されている2,500室のホテルに加え、クルーズ船による宿泊施設提供に関して運航会社と交渉中である旨発表。
- （14日ドミニカ報道）国際自然保護連合（IUCN）絶滅危惧種レッドリストに分類されているマッコウクジラを保護すべく、世界初のマッコウクジラ保護区の創設を決定。
- （21日セントキッツ報道）セントキッツ政府及びネービス島管理局が共同でネービス島における地熱発電開発を推進するという決議が国会にて全会一致で可決。
- （30日セントキッツ報道）メイナード公共インフラ・エネルギーと公益事業・国内運輸・情報通信技術・郵便相は、2030年までに国内エネルギー需要の100%を再生可能資源から調達するという目標を発表。

3 経済

- （1日グレナダ報道）2017年1月～2023年9月までの間に、投資による市民権（CBI）プログラムを通じて市民権を獲得した11,814人の内、2022年7月～2023年9月までの15か月間にミッチェル内閣により市民権が承認された人数は4,342人（37%）に上る。
- （4日グレナダ報道）グレナダ外務・貿易・輸出開発省及びグレナダ投資開発社（GIDC）は、5～10日にかけて中国・上海で開催された第6回中国国際輸入博覧会に参加した。
- （6日セントルシア政府発表）セントルシア政府は台湾政府より、インフラ・港湾・交通省への設備追加や、観光・投資・創造産業・文化・情報省傘下の国立文化センターの改修等を含む計8つの二国間協力プロジェクト支援のため390万東カリブドル（約143万米ドル）以上の無償資金援助を受けた。
- （15日アンティグア報道）財務・企業統治省によると、9月の消費者物価指数は前年同月比5.6%上昇。
- （15日セントビンセント報道）第一回サウジアラビア・カリコム首脳会合に

出席するためサウジアラビアを訪問したゴンザルベス首相は、スルタン・ビン・アブドゥルラーマン・アル・マルシャド・サウジアラビア開発基金（SFD）最高経営責任者（CEO）と会談し、住宅、教育、保健、スポーツ施設、及び安全保障の分野におけるインフラ整備プロジェクトに関する覚書に署名。更に同首相はハリド・ファリハ・サウジアラビア投資相と会談し、サウジアラビアからの観光分野への投資を提案した。

●（17日セントキッツ報道）ドリュウ首相はスルタン・ビン・アブドゥルラーマン・アル・マルシャドSFDのCEOと会談。SFDは、ニーズマスト発電所拡張プロジェクトの開発資金として、1億5,000万サウジアラビアリヤル（SAR）（約4,000万米ドル）を拠出することに合意。更に、セントキッツはカリブ諸国として初めてサウジアラビアへの査証免除が適用された。

●（20日セントビンセント報道）SFDは、セントビンセントに対する5,000万米ドルの融資を承認し、2023年に同開発基金から承認された額は6,600万米ドルとなった。ゴンザルベス首相は、同融資は住宅の修繕・再建や学校、医療機関、文化・スポーツ施設の建設などに充てられる予定である旨発表。

●（23日セントルシア報道）ピエール首相は、6月に発生したトロピカル・ストーム・ブレットにより被害を受けた学校再建のため、アフリカ輸出入銀行から600万米ドルの融資を受ける旨発表。

4 外交

●（2日セントビンセント報道）ジェームズ観光・民間航空・持続可能な開発・文化相及びブラウン都市開発・エネルギー・港湾開発・港湾管理・グレナディーン諸島・地方自治相は台湾を公式訪問し、游錫堃立法院長（国会議長）及び陳立國外務副大臣の歓迎を受けた。更に同大臣らは李朝成国際合作発展基金会（ICDF）事務局長と会談し、環境持続可能性、農業、公衆衛生などの分野における協力プロジェクトに関して協議した。

●（17日、21日、27日ドミニカ報道）ドミニカのロゾー市と中国の義烏市、及びセントジョセフ市と山東省の任城区がそれぞれ姉妹都市関係樹立の覚書を締結。

●（19、20日セントビンセント報道）セントビンセントは欧州連合（EU）及びアフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構（OACPS）の加盟国間の新協定であるサモア協定に調印。同協定は、2020年に失効したコトヌー協定の後継となる。

●（27日セントルシア政府発表）パリのユネスコ本部で行われた第218回ユネスコ理事会会合にて、2023年から2025年のユネスコ理事会議長にセントルシアが選出された。